



東濃厚生病院

Hospital public relations magazine

VOL.109

発行者/JA岐阜厚生連 東濃厚生病院
所在地/〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町76番地1
TEL/0572-68-4111
FAX/0572-68-8934
URL/http://www.tohno.gfkosei.or.jp

すこやか

Content

● 医療を伝える

● 肺がんについて
医師 糸魚川 英之

● 知って得する

● 糖尿病と自己血糖測定器
● 部署紹介/手術室 中央材料室

● ニュース&トピックス

● 第5回 脳卒中教室開催のお知らせ

● 院内教室レポート

「第21回腎臓病教室が開催されました!」

すこやか 外来診療担当表

2019年10月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	専門・特殊外来	
初診	第1・3・5週	猪飼佳弘 (循環器)	舟久保浩 (循環器)	伊藤和則 (腎臓)	宮本陽一 (消化器)	内田元太 代務医	内科 血液内科外来 第2週木曜日/午後 CAPD外来 毎週月曜日/午後 フィットケア外来 第3週第4週木曜日/ 9:00~16:00(予約制) 睡眠時無呼吸外来 毎週木曜日/ 13:00~15:00(予約制)
	第2・4週	糸魚川 英之 (呼吸器)	吉田正樹 (消化器)	荒田真子 (消化器)	藤井麻耶 (腎臓)	朱宮孝紀 代務医	
	3診	野坂博行 (呼吸器)		安藤 操 (内分泌)	野坂博行 (呼吸器)	代務医 (内分泌)	
	4診	藤井麻耶 (腎臓)	伊藤和則 (腎臓)	澤崎貴子 (腎臓)	澤崎貴子 (腎臓)	伊藤和則(1・3・5) 藤井麻耶(2・4)	
	5診			代務医 8:30~11:30	猪飼佳弘 (循環器)	代務医 (循環器)	
	6診	朱宮孝紀 (循環器)	猪飼佳弘 (循環器)	塚本英人 (循環器)	塚本英人 (循環器)	舟久保浩 (循環器)	
	7診						
	8診	代務医 (呼吸器)	代務医 (呼吸器)	糸魚川 英之 (呼吸器)	柴田尚宏 (呼吸器)	代務医 (呼吸器)	
	9診	吉田正樹 (消化器)	長屋寿彦 (消化器)	吉田正樹 (消化器)	荒田真子 (消化器)	宮本陽一 (消化器)	
	10診	長屋寿彦 (消化器)	内田元太(1・3・5) 宮本陽一(2・4)	内田元太 (消化器)		荒田真子 (消化器)	
神経内科	代務医 9:30~16:00	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	外科 ストーマ外来 第1木・第3金・第4水/ 9:00~12:00(予約制) ヘルニア外来 毎週月曜日/ 8:30~11:30 肛門外来 毎週火曜日 8:30~11:30 乳腺外来 第2・第4月曜日 毎週木 曜日/ 13:30~15:30 (予約制)	
小児科	代務医	代務医	代務医	高田勲矢	佐々木明		
外科	1診	田中健太	安藤修久	大谷 聡	代務医	代務医	
	2診	山村 和生 (1・3・5)	代務医	山本希誉仁 (血管外科)	山村和生	大谷 聡	
整形外科	乳腺	山村 和生 (2・4)			代務医(乳腺外来) 13:30~17:00		
	1診	代務医(手の外科) 9:30~11:30	佐藤 央	柏原 学	大間知孝顕	杉浦洋貴	
	2診	柏原 学	大間知孝顕	大間知孝顕	佐藤 央	平石 孝	
脳神経外科	3診	平石 孝	杉浦洋貴	清水光樹	杉浦洋貴	清水光樹	
				代務医			
皮膚科	1診	稲垣克彦	稲垣克彦	稲垣克彦	代務医	代務医	
	2診				稲垣克彦		
泌尿器科	代務医		代務医			整形外科 スポーツ外来 毎週木曜日/16:00~ 脳神経外科 特殊外来 第4木曜日/ 13:00~16:00(予約制) 梶田医師)	
産婦人科	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝		
眼科	1診	代務医 9:00~16:00	代務医 9:00~13:00		金田正博 9:00~16:00	代務医 9:00~16:00	
	2診				代務医 9:00~16:00		
耳鼻咽喉科	1診	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	
	2診	代務医		代務医 (第4週)	代務医		
放射線科	可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介	皮膚科 午後診察 毎週火曜日・木曜日/ 14:30~16:30 耳鼻咽喉科 補聴器外来 毎週月・火曜日、 第2・4水曜日/ 15:00~(予約制)	
人間ドック 診察	第1・3・5 山瀬裕彦 第2・4	野坂博行 塚本英人	山瀬裕彦	安藤 操 吉田正樹	柴田尚宏 安藤修久		

JA岐阜厚生連 東濃厚生病院
〒509-6101 瑞浪市土岐町76-1
TEL 0572-68-4111 FAX 0572-68-8934

受付時間 8:30~11:30 休診 土曜・日曜・祝日 面会時間 13:00~20:00

■健康管理センター(人間ドック)
TEL:0572-68-4426 FAX:0572-68-9458
■訪問看護ステーション あゆみ
TEL:0572-68-8625 FAX:0572-68-8635

看護職員募集

当院では、看護職員を募集しています。現場から長期に離れた方でも大歓迎です。ご自身の能力を患者さんのために役立ててみませんか?お待ちしております。

資格 看護師・看護補助員

連絡先 企画総務課および看護部長室
TEL 0572-68-4111

編集協力/TCKnagoya

医療を伝える

THE TOPIC WHICH IS AN NUMBER NOW

今回のテーマ

「肺がんについて」

内科 糸魚川 英之

1 肺がんとは

肺がんは、気管や気管支、または肺胞という小さな袋の細胞ががん化したものです。日本のがん死亡者数が最も高いといわれている疾患です。肺がんは周りの組織を破壊しながら増殖し、血液やリンパの流れに乗って広がっていきます。肺がんは、組織型により非小細胞肺がんと小細胞肺がんの2つに大きく分けられています。種類によって、特徴があり、進行度、治療法などが異なります。

2 症状

肺がんは他のがんに比べて、比較的があります。他に痰細胞診検査や血液検査での腫瘍マーカー測定を行うこともあります。

肺がんが疑われると、胸部CT検査等により、異常な陰影が写っていないか、リンパ節が腫れていないか、胸水が溜まっていないかなどを検査します。肺がんが疑われた場合は、気管支鏡検査や生検などで採取した組織や細胞を顕微鏡で詳しく調べる病理検査を行い、がん細胞の有無やがんの種類を確認します。

4 治療

に重要です。

肺がんは、がんの種類（組織型）によって放射線療法や薬物療法に対する反応が異なることから、がんの種類に応じた治療方針が立てられます。

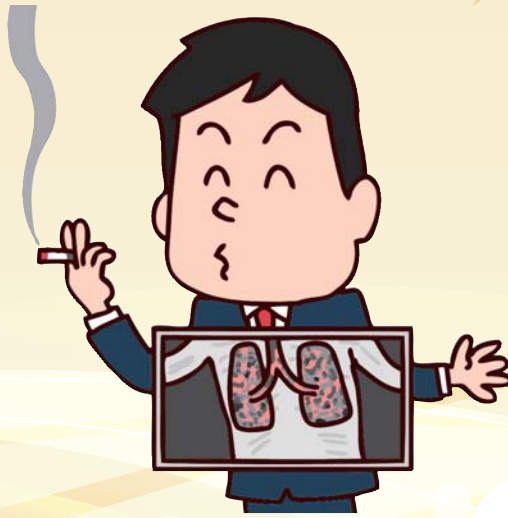
非小細胞肺がんの主な治療法は、局所治療の「手術」と「放射線療法」、全身治療である「薬物療法（抗がん剤治療）」です。これらは単独で行われる場合もありますが、治療効果を高めるため、これらを組み合わせる集学的治療が行われることもあります。実際にどのような治療を行うかは、がんの進行度や組織型、年齢や全身状態、治療後の生活への影響などを十分考慮し、個々の患者さんの状態に応じて決定します。転移の程度、年齢、全身状態等も踏まえ、手術や抗がん剤治療はかえって体力を奪ってしまうというリスクもありがんそのものに対する治療が困難の場合は、苦痛を

5 予防と検診の重要性

取り除くための緩和的な治療が行われることとなります。

がん予防には禁煙、節度のある飲酒、バランスの良い食事、身体活動、適正な体形、感染予防が効果的と言われています。肺がんを予防するためには、たばこを吸う方は禁煙し、吸わない方もたばこの煙を避けて生活することが重要です。

そして、早期発見のため、検診を受けていただくことが重要です。なお、瑞浪市では、肺がん検診を満40歳以上の希望者が年度内に1度受けることができます。肺がん検診では、胸部レントゲン検査を施行します。また、喀痰検査は50歳以上の喫煙指数600以上の方が対象となっており、気管支炎の発症リスクを減らすことが期待されています。検診の間隔は年1回ですので、気になる症状がある場合には、検診を待たずに医療機関を早期に受診しましょう。



ので、そのような方では特に、前記のような症状が続くときには診察を受けることをお勧めします。また、たばこを吸わない人でも発症することがあります。周囲に流れるたばこの煙を吸う受動喫煙により発症リスクが高まることもわかっています。

3 検査

検診は健康診断や公的な肺がん検査といったもので、肺に異常があるかどうか、痰の中に異常な細胞や血液が混ざっていないかを調べるための検査です。定期的な受診することで、肺がんを早期発見できるといふメリットがあります。主に行われている検査には、胸部レントゲン検査

行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。

病院の理念

歩みいる者にやすらぎを、
去り行く人に幸せを

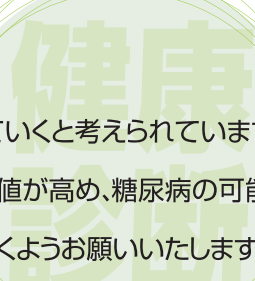
私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、そして信頼される病院を目指します。

現在糖尿病の薬物療法は飲み薬と、インスリン注射があります。糖尿病の治療薬の開発は年々進んできており、生活スタイルに合わせて選択することが可能になっています。

インスリン注射と併用して血糖値を自分で好きなときに測定することができます。当院では現在、指先から血液を採取して測定する機器と、腕にセンサーを貼り付け読み取り装置を近づけて測定する機器の2種類を用意しています。低血糖が心配な方や血糖値が不安定な方には後者をおすすめしています。(現在は1型糖尿病でインスリン注射を行っている方に実施しています)



今後も糖尿病患者さんは増加していくと考えられています。定期的に健康診断を受けていただき自分の血糖値を把握すること。血糖値が高め、糖尿病の可能性があるとされた時は、「自分は大丈夫」と思わず、病院を受診していただくようお願いいたします。



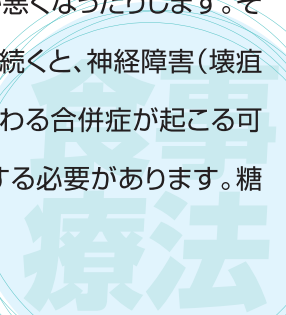
今回のテーマ

「糖尿病と自己血糖測定器」

内科外来 林 麻理子

糖尿病の患者数は年々増え続けており、私たちにとって最も身近な病気になりつつあります。糖尿病はほとんどが無症状で発症・経過するため、治療を受けていない方が多い病気でもあります。

糖尿病の多くは毎日の偏った食生活により、血糖値を下げる働きのあるインスリンというホルモンの分泌が少なくなったり、効きが悪くなったりします。そして血糖値が高い状態が続くようになります。高血糖が続くと、神経障害(壊疽(えそ)・網膜症(失明)・腎障害(透析)などの血管にまつわる合併症が起こる可能性が高くなります。そのため血糖値を下げる治療をする必要があります。糖尿病の治療は主に食事・運動・薬物療法が行われます。



食事療法とは炭水化物、たんぱく質、脂質の三大栄養素をバランス良くとり、ビタミンやミネラルなども欠かさずにとることが、糖尿病では大切な治療になります。

続いて運動療法としては、酸素を十分に取り入れて、体全体の筋肉をつかう有酸素運動が効果的だといわれています。有酸素運動は、1回に20分から40分行い、週3回以上実施するとよいといわれています。(例えば・ウォーキング・自転車・水泳・ラジオ体操など)

主に糖質を含む食品	表1		穀物 いも類 糖質の多い野菜 豆
	表2		果物
主にたんぱく質を含む食品	表3		魚介 肉 チーズ 大豆やその製品
	表4		牛乳 乳製品 (チーズを除く)
主に脂質を含む食品	表5		油脂 多脂肪性食品
主に食物繊維を含む食品	表6		野菜 (糖質の多いものは除く) 海藻 きのこ こんにゃく
調味料			みそ 砂糖 みりん等

みなさまに身近な健康にまつわる選りすぐりの情報をお伝えします!

知

つ

て

得

す

る



東濃厚生病院の

部署紹介

「手術室 中央材料室」

当院の手術室は、2階の奥に位置しています。スタッフは看護師11名、看護助手1名、委託スタッフ2名で、日々行われる手術を支えています。

手術室看護師の役割は、「患者さんの安全を守り、手術が円滑に遂行できるよう専門的知識と技術を提供すること」です。手術を受ける患者さんのところには、手術前日もしくは当日に病室を訪問し、手術室に入るまでの流れや処置について、他には既往歴やアレルギーの有無など手術をするうえで必要な情報を把握し、手術が安全に遂行できるよう、医師や臨床工学士、放射線技師、検査技師、薬剤師など他職種の人と協働しています。また、手術を開始する前には、手術安全チェックリスト(世界保健機構)を基に、氏名、術式、手術時間、予測される出血量、麻酔管理上の注意などをスタッフ間で共有してから手術を開始しています。

中央材料室では、手術で使用しても感染を防御できるよう、器械の洗浄、包装、滅菌を主な業務として行っています。中央材料



室は、病院の感染管理の要となる部署でもあります。

手術室看護師が患者さんと関われる時間は短いですが、無事に手術が終了し、また元気に社会復帰に向けてお手伝いの一助となるよう、スタッフひとり一人心を込めて手術看護にあたっています。手術を受ける患者さんやご家族の方を対象に、手術室の見学を希望されれば可能な限り対応させていただきますので、いつでもご相談ください。

2019年6月8日(土)に当院健康管理センター2階にて、「CKDと高血圧」をテーマに第21回腎臓病教室が開催されました。今回の参加者数は31名と多くの方々にご参加いただき、スタッフ一同、参加者の皆様の真剣さに引き締める思いです。また、今年度は中京学院大学の看護学生さん5名がこの教室の運営に参加され、当院スタッフと共に教室を盛り上げてくれました。

近年では成人の8人に1人が慢性腎臓病(CKD)と言われ、国民病とされています。CKDの進行により、年間4万人近くの方が末期腎不全から透析導入に至っています。CKDの進行を抑えるためには、病気を十分に理解して上手にお付き合いしていくことが大切です。それには食事療法とお薬が重要な役割を果たします。腎臓病教室では「腎臓の働き・慢性腎臓病とは」「薬物療法」「検査データ」「医療福祉」「食事療法」について、各担当者からじっくりとお話しをさせていただきます。また、参加者から



の活発なご意見・ご質問にもその場で答えさせていただきます。

その重要な食事療法として「低蛋白・減塩・低カリウム」がポイントの腎臓病食を、昼食という形で実際に目で見ると(量)、舌で味わって(減塩)感じることで学んでいただけるよう、毎回ご提供しています。今回はバイキング形式で各おかずを2種類ずつご用意し、好きな方を選択していただきました。普段、パンフレットや栄養相談という形でお話することで食事療法をお伝えしていますが、当院の管理栄養士が準備する腎臓病食から、少しでもご自宅での食事療法の参考になればと考え、毎回美味しい食事を一と準備させていただきました。

今回の第22回腎臓病教室開催は2019年12月7日(土)を予定しています。スタッフ一同、心をこめて準備しておりますので、毎回繰り返しご参加

今回のMenu

- 肉まん
- もやしのナムル
- 又は 粒マスタード和え
- 磯辺揚げ
- 又は フリッター
- 肉野菜うどん
- 又は カルボナーラ
- デザート(ムース)



いただいている方、現在治療中の方・興味のある方はぜひぜひご参加いただければと思います。みなさまのご参加をお待ちしております。

院内教室レポート 第21回腎臓病教室が開催されました!



東濃厚生病院の気になるニュースをお届けします
ニュース&トピックス

院内で結成した脳卒中隊(医師、看護師、リハビリ、栄養士、薬剤師)が集まって、個々の専門分野の担当者が、脳卒中の劇を通して病気や食事、リハビリについて学んで頂く教室です。患者さんや家族の皆さんに脳卒中について、より知識を深めて頂くと共に、住み慣れた場所で健康に暮らすための取り組みとして、毎年脳卒中教室を開催しています。

どなたでも、ご自由に参加頂けますので、一人でも多くの方が、お気軽に脳卒中教室に起こしいただければ幸いです。

多職種チームでサポートします



第5回脳卒中教室開催のお知らせ

テーマ

これって脳卒中?

~その時私たち家族にできることは?

参加費無料

講師

神経内科医師 加藤 秀司
院内脳卒中隊メンバー

今年も、劇やります

日時

2019年11月21(木)13:30開場

14時~講演開始 (1時間30分程度)

会場

東濃厚生病院健康管理センター2階講義室

*参加申し込みは、神経内科外来または、6階病棟に申し込んで下さい。
(申し込み用紙は、神経内科受付・6階病棟にあります)

